



水石 玲子

◆教育環境の改善に向けて

問 通学カバンの重量軽減について

答 小学校は、国語、算数以外の教科書やノート、その他学用品は置いてよい。中学校では、5教科以外の教科書、ノート、その他学用品等は置いてよいこととする。

◆子育て世代に優しい環境づくり

問 土岐市立児童館の設置及び管理に関する条例について

利用者の利便性を考慮した条例等の改善の考えは。

答 条例に市内とありますので、条例に基づいて対応する。

問 放課後教室について

市内の放課後教室の利用数は。

答 2月現在の登録者数、1千167名。平成30年4月から平成31年1月までの延べ人数7万7千724名。1クラスあたりの1日平均は、約45名。

問 卒園児の小学校入学式までの受け入れ状況は。

答 新2年生から新6年生は4月1日から参加できる。

新1年生の参加は、入学式の翌日から参加。

問 今後の方向性について

答 受け入れ側の体制整備・課題を整理しながら、放課後教室以外での方法も検討し、対応策を研究していく。

◆避難所の整備について

問 小・中学校の体育館の空調整備について

答 現在、普通教室へのエアコン設置を最優先で進めている。今のところ体育館のエアコン設置は考えていない。今後の検討課題とする。

◆市民の健康増進について

問 風疹抗体検査、予防接種について 当市の対象人数は。

答 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性が対象で2月末現在で6千807名。

問 周知方法は。

答 4月以降、案内文とともに抗体検査と予防接種を無料で受けるクーポン券を同封し、個別に郵送する。



放課後教室

《第1回定例会一般質問》



楓 博元

◆獣害対策について

問 豚コレラに対する市の対応は。

答 これまでイノシシ2頭を検査し、陰性でした。又イノシシの拡散防止のために県に協力しています。

問 イノシシ狩猟禁止区域はどうなっていますか。

答 3月15日まで市内全域が禁止区域になっています。再開については現在のところ未定です。

問 補助金を利用しての捕獲数の大幅な増加を期待しますが、過去の捕獲数を教えてください。

答 捕獲に対する報奨金の増額ということで、オリ等の補助の増額ではありません。捕獲数は、年度・イノシシの数・アライグマ等の数でお答えします。

27年・298頭・13頭、
28年・324頭・19頭、
29年・426頭・19頭です。

問 電気柵・金属柵の設置補助事業について伺います。

答 受益戸数が3戸以上ある場合に現物支給をしています。主に濃南地域

と肥田町で支給しています。

問 補助制度を利用したいが3戸以上の受益者でない人への対応策を考えていただきたいが、どうですか。

答 現在は、農作物への鳥獣被害防止総合対策交付金によっていますので、これ以外の補助は対応できません。

◆企業誘致について

問 新しい企業誘致用用地の確保について伺います。

答 定林寺地区の用地は、調査をしています。事業費が27億円と高額になるため、方針は決まっています。下石西山地区の用地については、今年中に進出企業の公募をする計画です。敷地の造成等を市で行なうことは考えていません。

問 企業誘致の成果を公表ください。

答 地域名・固定資産税と法人市民税の合計額・市内在住の雇用者数でお答えします。プラズマリサーチパーク、2億6千900万円・901人、

アクアシルヴァ、4億8千200万円・188名、南テクノヒルズ5千700万円・69名となっています。

問 イオンモールの早期開店への動きはどうですか。

答 市、財産区、イオンモールの3者で協議しています。

問 植物工場が誘致できたようですが、

1件進出され、本年6月より操業されると聞いております。



小栗 恒雄

◆遅すぎる議会への資料提供、拙速な土岐総合の指定管理化

問 今回の土岐市総合病院の指定管理者の指定について、この議会で議決され、指定管理が開始されるまで、期間が約一年ほどの猶予がありますね、その一年間で相手方との協定内容の詳細がきまるとすれば、今回決定された指定管理者に有利な協定が結ばれる気が僕にはいたしません。

答 実際に土岐総合の指定管理予定者と詳細がどこまで詰められているのかご答弁をお願いします。

答 議会に対して、指定管理の業務をお願い、あるいは条件で指定管理予定者に特定することについて、指定管理予定者と内容についてコンセンサスを得ておく必要があると思いません。今回、議会にご提案を差し上げました指定管理者の指定についての協定は、締結をまだしておりませんが、その内容については市と指定管理予定者の間で、その内容については同意しているところです。

問 私は、土岐総合の指定管理化に反

対するものではありませんが、当該の指定管理者を指定しようとするときは議会の議決が必要であります。私は、指定管理予定者とのすり合わせの内容の資料を早く議会に出してくださいとお願ひしていたんですね、未だにその資料が出てこないんですよ。議員が議決をしようにも、議員には何も知識がないわけであり、まして、委員会の直前に出していたとしても、委員が精読する時間もなく、内容を精査や理解できないうちに拙速に形だけの委員会審査を済ませることは、何か大事な点を見落としているようで、土岐総合の将来に大きな災いを引き起こすようで大変心配であります。市長は、在任中にどうしても土岐総合の指定管理化を決めたいと思っておられますか。

答 資料につきましては、実際に十二月の時点では、まだ素案は全然ありませんでした。やっぱり指定管理する方もいろいろ考えて、どういう医療体制にして、できるだけ効率的に病院が運営できるかということも吟味しないかんといいこともあり、そういう意味で決まっていなかったわけですが、今回提案させていただいた中には、向こうもどのような体制の内容を詰めてきておりますので、できるだけ早い段階でその資料を出したいなと考えております。

《第1回定例会一般質問》



渡邊 隆

◆土岐市公の施設の指定管理者制度による厚生連指定管理者選定について

問 指定管理制度導入フローを基に総合病院再編で市長による非公募決済が最善の方策であるとの根拠は。

答 指定管理者選定は原則公募ですが市場で受け皿がない業務では直営を考えますが、今回の一番大きな要因は、公募で応募者があるかわかりませんが、将来を見据えて東濃医療体制を確保するために東濃厚生病院との一院化が望ましいという目標に向けて東濃厚生経営者である厚生連へ指定管理をお願いするのが適正という意味で進めさせていただいた。

問 指定管理導入にあたっての判断基準は。

答 病院事業は全てが公的病院ではない。大きな民間病院もあり、民間のノウハウを活用できると同時に、市民の皆様が求めている医療提供体制を確保するために民間の力を借りるという判断です。

問 再編のポイントである医師確保の

財政上の課題について、指定管理導入後、医療提供体制をどう展開されるのか。メリットは何か。

答 かねてから、この地域の医療提供体制をいかに守るか、いかに確保するかということは何度も申し上げています。現行の医療提供体制を確保、財政負担軽減を実現できる相手として、厚生連を指定管理者に指定する提案です。

問 政策医療、医師数、医療収支等医療体制はどのようになるのか。

答 指定管理者については、現在の医療提供体制をそのまま継続するという前提で依頼をしています。政策医療は通常やると不採算になる救急医療、小児医療、リハビリ医療があるが、協定の中で位置づけています。総合病院が指定管理となってしまうのか、詳細は全部決まっています。医師が残るか、厚生連が補充するか決まっていない。診療科確保、医師派遣について医局へ求めることを、今後も努力します。

問 住民のニーズ、判断基準等協定の内容が説明不足です。

答 厚生連より医師数は21人から26人と試算されている。指定管理料は5年間で上限22億円で設定されています。